

2025 年 9 月 2 日

国際協力機構（JICA）が発行するサステナビリティボンドへの投資について

株式会社シャルレは、このたび、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」ジャイカ）が発行する「アフリカ・TICAD ボンド（サステナビリティボンド）」への投資を行いましたので、お知らせいたします。

JICAは開発途上国の持続的な社会経済発展を支援する政府開発援助（ODA）の一元的な実施機関であり、JICAが発行する債券によって調達された資金は、全額がJICAの実施する有償資金協力事業に充てられます。今回の「アフリカ・TICADボンド（サステナビリティボンド）」は、2025年8月に横浜で開催された第9回アフリカ開発会議（TICAD9）を契機として発行されたもので、アフリカ向けの有償資金協力事業に活用されます。

サステナビリティボンドとは、調達資金の使途が、環境改善効果があること（グリーン性）及び、社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する債券です。JICAのサステナビリティボンドは、独立した第三者機関であるMoody'sより、国際資本市場協会（International Capital Market Association: ICMA）が定義するサステナビリティボンドの特性に従った債券である旨のセカンドパーティーオピニオンを付与されています。また、JICAが発行する債券は、日本政府の「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針改定版」および「SDGs アクションプラン2020」において、SDGsを達成するための具体的施策のひとつとして位置づけられています。

当社は、JICA債への投資を通じて、持続可能な社会形成に寄与すべく、地域社会への貢献に取り組んで参ります。

＜JICA 債の概要＞

銘柄	第 83 国際協力機構債券
年限	3 年
発行総額	150 億円